

2024年度（令和6年度）梅田リーグ 一部リーグ実施要領

会場 梅田小学校

競技資格 ① 梅田連盟に登録しているチームの小学校4年生以上6年生以下の児童。（3年生は協議の上、参加可）
② 代表者（成人）が必ず引率して参加できるチームであること。
③ 参加者全員がスポーツ傷害保険に加入していること。

チーム編成 代表者（成人）1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・マネージャー1名（監督の背番号は30、コーチの背番号は29・28でユニフォーム着用）・付き添い保護者2名・選手25名以内（小学校3年生以上6年生以下の児童）でベンチ入りは、10名以上とする。
主将の背番号は10、その他の選手は10、28、29、30を除く0～99までとする。

試合方法

- (1) 試合は、総当たりリーグ戦とする。
- (2) 試合は、**6回戦**とする。
- (3) 試合時間は**80分**とし、制限時間を経過した場合は新しいイニングに入らない。
（注）決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合となる。
- (4) コールドゲームは、**3回以降10点差、4回以降7点差**以上の時に適用する。
（3回もしくは5回を終了するか、3回表もしくは5回表終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はコールドゲーム成立とみなす）
- (5) 雨天中止およびやむなく中止の場合は次回に順延とする。
- (6) 延長戦は行わず、1イニングのタイブレーク方式を行う。正位打者が打撃を行い、得点を争う。前回の最終打者を一塁走者とし、二塁、三塁の走者は順次前の打者とする、一死満塁の状態にして延長戦を行う。（代打・代走は自由）なお、決しない場合は抽選とする。
- (7) 使用ボールは、公認J号球とする。
- (8) ヘルメットは必ず、打者、次打者、走者、走塁コーチ共用する。チームで7個以上用意のこと。
- (9) 金属製バットは、公認（J S B Bマーク入）のものに限る。
- (10) 捕用手マスク及びヘルメットは、危険防止のためにも公認(SGマーク入り)のものを着用すること。
- (11) プロテクター・レガース・スロットル・ファールカップは危険防止のために着用すること。
- (12) スパイクは、金具のついたのは使用できない。

- (13) 1試合かつ1日の1投手の投球数は、**70球**とする。ただし**4年生以下は60球以内**とする。又、当該打者の終了までの続投は認める。
- (14) 抗議ができるのは、監督と当該プレイヤーのみとする。
- (15) 木製のバットを2本以上、用意するのが好ましい。
- (16) 公認規則5・10（d）〔原注〕「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから、投手以外の守備位置に移ることもできない。投手以外の負傷退場した野手に代って出場したプレイヤーは5球を限度としてウォームアップが許される。」の前段は採用しない。したがって、投手の守備位置の交代は自由である。
- (17) 申告故意四球を採用する。（監督より申告）その場合の球数はカウントしない。
- (18) その他は、野球規則（最新版）で行う。今年度より指名打者ルールを採用

順位決定 リーグ戦の順位決定については以下の通りとする。

- (1) 対戦成績の勝ち数が多いチームが上位となる。
- (2) 同じ勝ち数のチームが2チームある場合はお互いの対戦成績で勝ったチームを上位とする。
（抽選での勝利も含む）
- (3) 同じ勝ち数のチームが3チームある場合は3チームの試合において得点の多いチームを上位とする。
- (4) 上記(3)で得点と同じチームは失点が少ないチームを上位とする。
- (5) 上記(4)も同じ場合は前年度同季の上位チームを上位とする。

注意事項

- (1) 試合中のヤジ等については、指導者が十分注意すること。
- (2) 走塁コーチは登録選手が行う。
- (3) 試合前のシートノック及びバッティング練習等の時間は特別には設けない。
- (4) グラウンド（校庭）以外でのキャッチボール、バッティング等の練習は禁止する。
- (5) 試合開始予定時間30分前には攻守決定ができるよう監督と主将は本部に集合のこと。集合時にメンバー表提出すること。試合開始が早まる場合には適宜アナウンスする。
- (6) 進行はタイムスケジュールに従うがコールドゲーム等で進行が早まる場合には本部の指示に従うこと。
- (7) 登録の変更は、チームの最初の試合まで。（ただし、チーム間の変更は認めない。）その後は変更できない。
- (8) メンバー表には、先発の9名および交代要員を記入する。出場申込書によって登録の有無を

確認する。登録選手の10名以上がベンチ入りすること。

- (9) 試合中の指導者とのキャッチボールは許可します。(ただし、ピッチング練習のキャッチャーをするのであれば、防具を着用のこと。)
- (10) 球場内練習時のバット使用は素振りとバントのみとする。(必ずヘルメット着用のこと)
- (11) 監督代行は29または28が担当すること。その場合は他の人が30をつけることは許されない。
- (12) グローブの紐の長さの制限。紐が鞭のようになり危険防止のため。(市大会実施要領に記載)
- (13) グラウンド内(ベンチ含)での服装に注意すること。(短パン、スパッツ禁止)
- (14) 審判は組み合わせに従う
- (15) チーム審判の服装は白ワイシャツ・ポロシャツ、紺ズボン、黒又は、紺の靴下、黒い靴でお願いします。

抽 選 方 法 同点の場合は以下の通り勝敗を決定する。

- (1) 審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが、投手からポジション順にあいさつの状態に整列する。
- (2) 抽選用紙に○印、×印各9枚記入したものを封筒に入れる。
- (3) 球審が18枚の封筒を持ち、先行チームより1枚ずつ交互に選ばせる。
- (4) 二人の審判員が両チームの監督立会いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。

取 決 事 項 連盟の取り決め事項として以下を決める。

- (1) ファールボールが打たれた場合は、一塁側のものは一塁側ベンチ、三塁側のものは三塁側ベンチ、本塁後方のものは攻撃側ですみやかに処理する。
- (2) 攻守交代の時には、ボールを必ず投手板近くに置いて交代すること。
- (3) 投手の準備投球は原則として、試合開始の表裏、救援投手は捕手を相手に7球以内(時間にすれば1分以内)とし、次回からは3球以内とする。
- (4) 攻撃側は、第三アウトが成立したら、プレイヤーは素早くベンチを離れて、駆け足で守備に向かうこと。とくにバッテリーは、準備投球があるから、率先してベンチからでること。
- (5) 投手は返球を受けたら直ちに投手板について投球姿勢をとらなければならない。なお、打者が打撃姿勢をとっているのに、投手がボールをもってマウンド上で無駄な動きをしたり、投手板についてもなかなか投球しなかった場合は注意を与える。
- (6) 投手の塁への送球で無用と思われる塁への送球が度を過ぎれば注意を与える。
- (7) 捕手は、できるだけ捕手席から投手に返球すること。

- (8) 捕手が、投手のところへ行くときは、往復とも駆け足とする。
- (9) 次打者は、前打者の打撃が完了したら、すみやかに打者席に入って打撃姿勢をとること。
- (10) 打者は、打者席を外してサインをみることを禁止する。
- (11) 打者は、「タイム」を要求してローズンをつけに行くことは許されない。
- (12) ファールボールが打たれたときは、走者は駆け足で戻ってもとの塁に触れること。
- (13) 内野手が投手のところへ集まるときは、往復を駆け足で行い、このためにプレーの開始を遅らせてはならない。
- (14) 監督は、ピンチの時以外は、投手を交代する時を除いて、投手のところへ行くことは許されない。なお、選手をベンチに呼び寄せることを禁止する。
- (15) ベンチから、数多く無用と思われるサインを送ることは許されない。
- (16) 捕手を含む内野手が、1試合に投手の所にいける回数を、3回以内とする。
- (17) その他の事項については、（公財）全日本軟式野球連盟発行の競技者必携（最新版）少年野球に関する事項を読まれること。

梅田小学校 梅田小学校使用上の注意事項

1. チームの駐車台数につきましては幹事会で決定します。指定台数以上の駐車は禁止します。特に応援の方にも周知下さるようお願いいたします。
2. 自転車は、カギをかけ整理して置いてください。
3. グラウンド（校庭）内の、鉄棒・サッカーゴール・固定遊具等に乗ったり、登ったりしないでください。
4. 非常階段等、グラウンド（校庭）以外の所には、立ち入らないで下さい。
（校舎の壁にボールを投げ当てない等）
5. チーム内で、出たゴミは、必ず持ち帰って下さい。
学校内のごみ箱に捨てて帰らないこと。特に応援の方のゴミ、タバコの吸殻等注意すること。
6. 午前8時30分以前の練習時には、声をださないようお願いします。
7. 試合終了後は、両チームでグラウンド整備をして下さい。

* 試合進行状況等により変更がありますのでご了承下さい。